

事業所名

さんりんしゃ 3 (放課後等ディサービス)

支援プログラム

作成日

2024 年

12 月

2 日

法人（事業所）理念		・生きる力が最も弱い人を支援します ・障がい課題がある人が地域の中で普通の生活を送ることができるよう支援します ・乗馬療法と水治療の振興を図り、より多くの人がそのサービスを利用できるように努めます		
支援方針		・安全で安心できる生活環境で、個々の成長に合わせながら活動や遊び（集団・個人）を提供します ・楽しい雰囲気の中で人との関わりを意識し、心身の発達をサポートします ・多職種との連携を図りながらチームワークを高め最良の支援を行います		
営業時間		8 時 30 分から 17 時 30 分まで	送迎実施の有無	（あり） なし
		支 援 内 容		
本人支援	健康・生活	・日々のバイタルチェック、全身状態や呼吸状態の細やかな観察をすることで体調の変化に早期に気づき、定期的な利用ができるよう支援していきます ・心も身体もリラックスできる、快適で心地よい環境づくりを提供していきます ・個々の特性および発達の過程に配慮し、小さなサインから心身の異変に気を付けていきます ・医師の指示書に基づき必要な医療ケアを提供します ・定期的に健康診断を実施し健康管理に努めていきます		
	運動・感覚	・乗馬療法、水治療、Gボール活動を通して日常生活に必要な動作の基本となる姿勢保持や筋力の維持、強化を図ります ・体調に合わせてからだの緊張をほぐしたりリラックスできる時間を提供するとともに、現在持っている機能の維持・向上を目指す支援を行います ・感覚過敏な利用者に配慮した環境設定や、感覚の特性に合わせた支援をしていきます ・イベント等を通して五感を刺激できるような活動を提供していきます		
	認知・行動	・活動の中で視覚、聴覚、触覚等の感覚を十分活用しながら認知機能の発達を促し、興味関心を持てるよう支援していきます ・感覚や認知の偏りなど個々の特性に配慮していきます		
	言語 コミュニケーション	・様々な表情、動作、発声の仕方などで自分の気持ちを表現できるようにしていき、それを受け止めて共感し気持ちの成長を促していきます ・ものや様子などを言葉にして伝えることでその意味と結びつくよう繰り返し伝え、言語の習得、自発的な発声を促していきます ・個々に配慮した場面における人との関わりを通して、コミュニケーション能力の向上のために支援をしていきます		
	人間関係 社会性	・物のやりとりをはじめ、人と関わることの楽しさを感じることができるよう支援していきます ・スタッフとたくさんふれあいをし積極的な声かけをしていくことで信頼関係がつけられるように支援していきます ・他利用者と一緒に過ごすことでお友達を意識しながら活動を通して刺激を感じられるよう支援していきます		
家族支援		・こどもの発達状態や特性の理解に向けた相談援助 ・家族の子育てに関する困りごとに対する相談援助 ・預かりのニーズに対応するための支援	移行支援	・家族への情報提供 ・併用している事業所、関係機関との情報共有 ・将来を見据えて支援目標や内容を設定し発達支援を行う ・社会人へ向けて相談員や保護者との連携を行う
地域支援・地域連携		・外出などで地域との交流や関係機関と連携を取り、利用者様・保護者様の思いに寄り添いながら地域で安心してすごせる環境を作っていく	職員の質の向上	・日々の支援後の振り返りで改善点、反省点の話し合いの実施 ・職員の内部、外部への各種研修会の参加 ・多職種での支援方法の共有
主な行事等		・季節に応じた製作活動・お散歩、外出・避難訓練・水遊び・感覚遊び ・乗馬療法、水治療の見学・クリスマス会などの季節のイベント		